



様式第10号(第14条関係)

令和8年 6月5 日

令和7年度持続可能な地域づくり団体支援寄附金実績報告書

鳥取県知事 平井 伸治

住 所 東伯郡琴浦町八橋 748-2
団体名 夢現の風
代表者職・氏名 会長 澤 泰治郎

令和7年度中に交付を受けた寄附金について、下記のとおり活用して事業を実施しましたので、持続可能な地域づくり団体支援寄附金交付要綱第14条第1項の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

1 寄附金受入額 令和7年度合計 68,000 円

2 添付書類

- (1) 寄附金活用実績報告書<様式第10号の2>
- (2) 寄附金活用収支決算書<様式第10号の3>

様式第10号の2 (第14条関係)

令和7年度寄附金活用実績報告書

事業名	笑顔と人びととのつながりを大切にする地域コミュニティ
実施期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
事業内容 ※対象者の範囲や人数、実施方法等を具体的に記入。	1 わくわく八橋の魅力発見ツアー 鳥取中央育英高校生の八橋探究応募がなく、由良地区で実施したLet's Go 北栄ツアー2025に協働参加した。 期間:令和7年5月1日～令和8年3月18日 場所:北栄町内 対象者:北栄町内外28名 内容:大栄図書館(出発)～由良宿通～由良台場～コナン通り～私学発祥の地～JR コナン駅～大栄図書館 2 八橋に笑顔と賑わいイベント実施 開催に向け事前打ち合わせしたが、実施に至らなかった。 3 人とひととのマッチング、出会いと生きがいの居場所づくり 期間:令和7年4月1日～令和8年3月31日 利用者:八橋住民(年間述べ600名) 開催日:毎週水曜日 9:30-11:30 内容:折り鶴、体操、脳トレ、トランプなど遊戯、茶話会をとおして認知症フレイル予防を図ることができた。
事業実施の成果・効果(見込み)	1 地域の魅力を発信することにより、誇りを育み伝承する礎になる。 2 地域住民との繋がりや絆を深め、地域コミュニティの活性化が図られた。 3 地域住民が支え合い、助け合うことにより孤独感が解消され、仲間づくりの輪が広がり生きがい生まれてくる。よりよいホットライン solo(ソロ)を立ち上げることができた。

※活用事業が複数ある場合には、事業ごとに作成、又は事業の内訳がわかるように記入すること。

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、その見込みを記載すること。

様式 10 号の 3 (第 14 条関係)

令和 7 年度寄附金活用収支決算書

【収 入】

区 分	金額 (円)	内 訳
支援寄附金	68,000	第 1 回交付分
自己資金	11,234	
収入 計	79,234	

【支 出】

区 分	金額 (円)	内 訳
賃借料	14,100	建物(きないや)使用料令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 47 回×300 円
事務局費	12,000	令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 12 か月×1,000 円
使用料	12,000	OA 機器使用損料令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月 12 か月×1,000 円
修繕費	2,215	きないやアコーディオカーテン
消耗品費	11,086	プリンターインク代 9,970 マット紙他文房具 1,116
印刷費	18,231	総会資料 16,731 ギフ鳥依頼文書 1500
旅費交通費	5,722	費用弁償研修会旅費
送料手数料	3,880	G ギフ鳥依頼、御礼文書切手代
支出 計	79,234	

※支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費など、経理上の区分名で記載すること。